

Market View

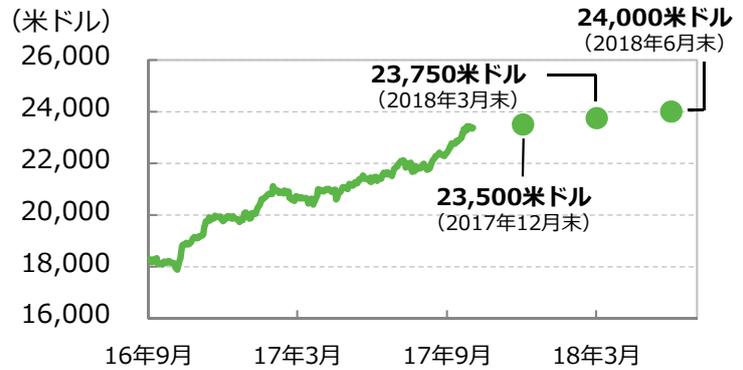
株式市場

日経平均株価：上昇基調継続



- 株価には過熱感があるものの上昇基調が継続。企業業績の伸長や、広がりを見せる景気回復、日銀の緩和的な金融政策が背景。

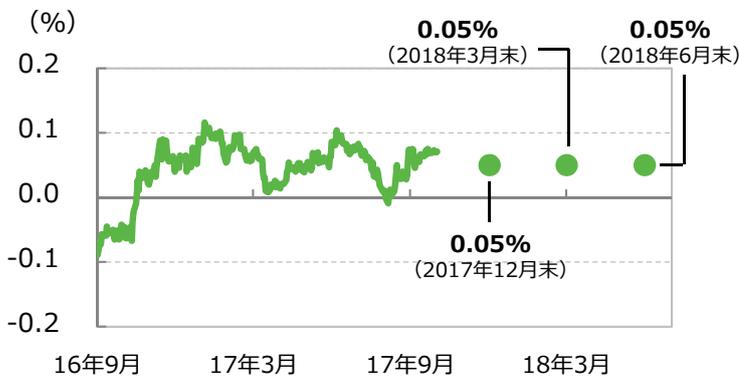
NYダウ：緩やかな上昇継続



- 景気拡大や緩やかな金融引締め環境が続く中で上昇継続を見込む。ただし、投資家センチメントの悪化などから上値が重くなる局面も想定される。

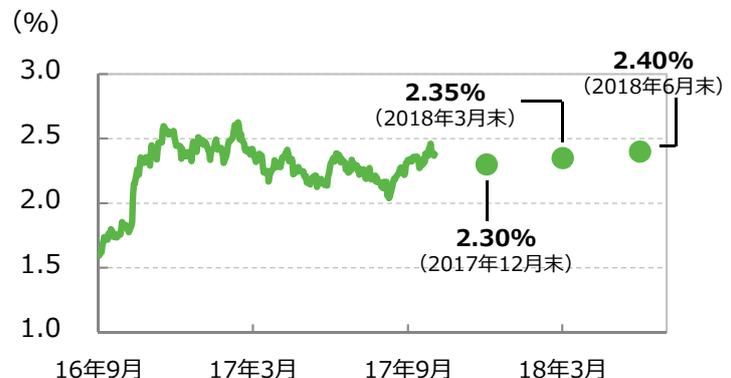
債券市場

日本10年国債：動きの乏しい展開に



- 現行金融政策の下、動きの乏しい展開を予想。
- ただし、年末に向けて短期債の需給引き締めやリアルマネーの超長期債買いでイールドカーブ全体に低下圧力がかかる局面も。

米国10年国債：緩やかな上昇



- 税制改革は小規模に修正される可能性もあるが、妥結への期待が残存していることに加え、米国景気の底堅さやFRBの利上げ継続方針から、緩やかな利回りの上昇を予想。

※2016年9月30日から2017年10月31日までのデータは実績値。2017年12月末、2018年3月末、6月末の値は当社予想。
出所：Bloombergのデータをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

(1/2)

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

だいwasみぎん

検索

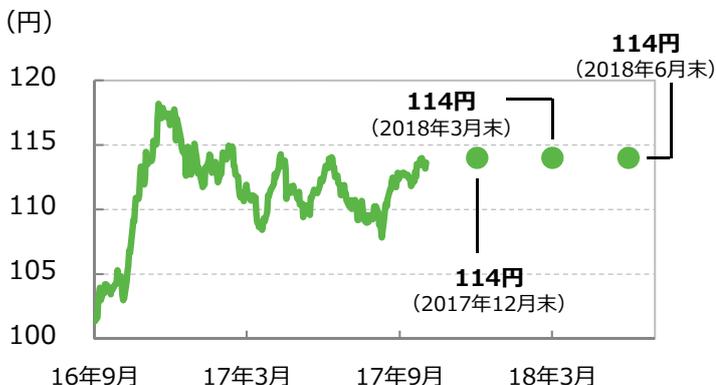


大和住銀投信投資顧問では、インターネットによりファンドのご案内、運用実績等の情報提供を行っております。<http://www.daiwasbi.co.jp>

Market View

為替市場

米ドル/円：現行の水準を維持



- 米国の景気は拡大を続けており、FRBによる利上げも来年にかけて続くと思われることから、米ドル円は現行の水準を維持する見通し。

豪ドル/円：堅調に推移



- 足許、国内政治の不透明感や軟調な物価指標が通貨の下押し要因となっているものの、雇用の拡大や良好な企業景況感などが景気を牽引し、豪ドル円は堅調に推移する見通し。

メキシコペソ/円：上値は重いが下値も限定的



- NAFTA再交渉、18年メキシコ大統領選を巡る不確実性から上値の重い展開が続く見通し。
- ただし、為替や金利の水準には再び割安感が出ており、下値も限定されよう。

ブラジルレアル/円：不安定な動き



- テメル大統領による改革スケジュール遅延リスクが懸念され、不安定な値動きを予想。
- ただし、改革推進期待や中銀の緩和策による景気回復期待は残るため、下値も限定されよう。

※2016年9月30日から2017年10月31日までのデータは実績値。2017年12月末、2018年3月末、6月末の値は当社予想。
出所：Bloombergのデータをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

(2/2)

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

だいwasumiぎん

検索

サイトはこちら

